進捗報告書 （実行団体）

事業名: 重度障害者の生き生き安全に活動する場作り

Version 1.2

資金分配団体: 公益財団法人長野県みらい基金

日付： 2021/10/7

実行団体名: 特定非営利活動法人WHITE CANVAS

実施時期: 2021年４月～2022年２月

事業対象地域: 長野県　中信、大北地域

事業対象者: 障害のある成人の方々

Ⅰ．事業概要

事業概要
就労が難しい重度障害者に、芸術活動を軸として、一人一人に合わせた支援を行い、生き生きとやり甲斐のある商品、作品づくりを行い社会参画の場を提供するための環境づくりを行う。最重度の障害者の活動場所の受け皿として、感染リスクの軽減が強く求められることから、活動空間に感染の可能性のある職員ないし利用者が発生した場合でも安全な居場所を確保し、また既存の利用者の方々も安全に活動継続できるよう、隔離空間を設置する改修工事を行う。また、事業の集大成として、利用者の自己充実感向上などを図るため、制作物の展示や紹介を行う。

Ⅱ．進捗報告の概要

総括
感染対策を目的とした改修工事が７月に完了し、重度障害者を対象に利用を開始。感染拡大に従い利用を控えた事業所もある中で、今回の改修により当法人は利用者にも安心感を持っていただきながら利用を継続することができている。６月には近隣の養護学校２校から、肢体不自由な生徒や行動障害のある生徒、ものづくりに活かせる能力があるが環境設定や個別の支援を必要とする生徒４名を実習生として受け入れ、彼・彼女らの卒業後の進路（就職先）の候補として活動いただいたところ、安曇野地域では初の「重度障害者が創作活動を通して収入と社会参画の両立を目指す」取組みを行う生活介護事業所であることが認められ、関係者から好評いただいた。感染対策を講じつつ、織物や刺繍、陶芸、水彩などの創作活動を通して各利用者の個性を活かした支援を行うことができた。今後は、８～９月に県内の感染警戒レベルが上昇したことを受けて見送っていた展示販売の実現を目指して活動する予定。

Ⅲ.活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	**進捗状況**
・医療ケアを必要とする利用者や最重度障害者など感染リスクの高い利用者の受け入れ。 ・感染症対策と、多様な障害特性に配慮された環境整備 ・日中活動の充実 ・作品の発表	・医療ケアを必要とする最重度障害者の受け入れを４月から開始した。 ・水洗トイレの増設と、環境整備の改修工事が完了した。 ・さまざまな障害特性へ配慮した環境と工程を設定し、それぞれの能力や個性を生かしたり伸ばす活動を提供。 ・作品をホームページやSNSで発表開始。長野県障がい者文化芸術祭に作品を出展申し込みした。

活動	**進捗状況**	**概要**
１　医療ケアや、強度行動障害を有する厳しい感染防止策の求められる利用者を受け入れ、安全に充実した心身の健康を育む活動を継続的に行う。	ほぼ計画通り	利用者の受け入れを１名開始。感染拡大時期にも利用があり、保護者の方より安心感とともに、社会参加となる商品の制作を行っていることへの満足感を感じていただいている。強度行動障害を有する方々の受け入れは、感染状況が沈静化するまで延期となった。施設とは連絡を取り合い、情報交換を継続中。
２　密を防ぎ、また、感染リスクが高まった際にも活動継続できるような空間づくりのための改修工事を行う。	計画通り	水洗トイレの増設と、環境整備の改修工事が完了した。感染リスクの軽減となっている。
３　個々の特性とニーズを確認しながら、創作活動を行う。	計画通り	さまざまな障害特性を持っている方々に日中活動を行い、能力を生かした活動を提供、個性を生かした作品・商品制作を行っている。
４　制作物の展示や紹介をSNSやホームページ、展示会開催により行い、社会への活動の認知を高めるとともに翌年度以降販売開始など事業の発展への布石とする。	ほぼ計画通り	制作物の展示を委託販売にて行っている。SNSとホームページに商品紹介ページを作成し、商品を紹介開始した。展示販売イベントの開催を９月に予定していたが、長野県全県の感染警戒レベルが５に上昇し、開催時期を見直すこととなった。

Ⅳ. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
事業の実施により、来年度からの利用希望者に繋がってきている。養護学校から、卒業後社会に関わってやりがいを持って活動できる場を求め、重度の支援を必要とする生徒たちの実習受け入れにより、さまざまな活動提供と環境設定を試行錯誤しつつも好評いただいた。事業の実施により感染症対策を中心とした環境設定への安心感に繋がった。安心な環境でさまざまな障害を持つ方々を受け入れ、１年後には新たな利用者、また実習生の受け皿をなることを目指す。 今後も作品づくりを継続する中で地域との交流や展示・販売会などのイベントの開催を目指している。１年後には商品の取扱店舗の増加、イベントでの展示・販売の実施、事業所でのイベント開催を継続的に行い、本助成期間後の自立を目指す。

Ⅴ．インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥3,511,304	¥3,511,304	¥3,171,484	90.3%
	管理的経費	¥0	¥210,100	¥210,100	¥86,400	41.1%
合計		¥0	¥3,721,404	¥3,721,404	¥3,257,884	87.5%

補足説明	本事業は、感染拡大防止対策工事の実施を前提として事業を進めるものであり、事業の前半（2021年４月から同年９月まで）に当該工事が完了し、費用の支払いが必要となることから、これにかかる経費分の助成金について初回（上半期）での交付をお願いした。そのため、直接事業費の執行率が90%となった。

Ⅵ. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
本事業により感染対策を行ってはいるものの、新たな変異株の蔓延等により感染拡大がおさまらず、感染リスクを極力軽減する必要が高まり、社会に開けた活動に制限をかけざるを得なくなっている。作品や商品を通した社会との繋がりを直接的な交流は難しいが、利用者のモチベーションにもつながることから、SNSなどを活用して非対面での交流ができる限り実現するよう努めた。また事態の沈静化の際には遅滞なく展示販売が行えるよう、ホームページの充実を行った。

Ⅶ. その他

自由記述

Ⅷ. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	・ホームページ（https://npowhitecanvas.wixsite.com/love） ・インスタグラム（https://www.instagram.com/npo_white_canvas/） ・Facebook（https://www.facebook.com/NPOWHITECANVAS） ・10月28日ラジオ（あづみのFM）にて紹介予定あり。
広報制作物等	有	６月NPO法人ニュースレター発行（年２回発行）
報告書等	無	

Ⅸ. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	2021年５月に理事会、６月に社員総会を開催した。
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	内部に苦情解決担当者を設置。外部に第三者委員会を設置。